

21. 山形県大石田町農家における住み方について

山形大教育 ○金子 幸子
長岡 佑
東北大工学 佐々木嘉彦

1. この報告は、前報同様積雪寒冷地農村における住生活、特に居住空間の構成と住み方の特質を明らかにする目的で行なった調査研究の一部である。

2. 調査対象の気象条件については前報に述べたので省略する。間取型はヒロマ型で、デイ、ナンド、ザシキダイドコロより構成されているのがその基本的特徴である。そして、ザシキ(接客空間としてのザシキではない)又はダイドコロに日常生活行為の多くが集中し、とりわけ冬季において一層それがはげしかった。必然的にそれら生活行為が相互に矛盾しあっている状態が認められた。就寝分離も未熟であった。採暖器具は主として炉およびコタツで、採暖方式に関する特徴は認められず、その他住み方、設備等の特徴はあまり認められなかった。

住宅形態および住み方のこれらの特徴は、積雪寒冷条件にもとづくものかどうかはなお検討を要する。